

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0804	曜日時間	不定期
授業科目	成人看護学援助論Ⅲ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	内部環境調節機能障害、身体防御機能障害が成人期の対象にあたる影響を理解し、内部環境調節機能及び身体防御障害をもつ成人の看護を学ぶ。						
中核	内部環境を整え生命力アップ						
授業目標	【内部環境調節機能障害、身体防御機能障害】 1. 内部環境調節機能、身体防御機能の障害が理解できる。 2. 内部環境調節機能、身体防御機能の障害が人間の生命・生活に与える影響が理解できる 3. 内部環境調節機能、身体防御機能が障害された対象のアセスメントが理解できる。 4. 内部環境調節機能、身体防御機能の障害をもつ成人の看護アプローチの方法が理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	2	1. 体温調節機能（甲状腺機能、下垂体機能含む）の障害 （体温調節機能と役割、体温調節機能とその障害） 2. 体温調節機能の障害が生活に及ぼす影響 （体温調節機能の障害が生命・生活にあたる影響） 3. 症状アセスメントと看護 （高体温、低体温） 4. 検査・治療時のアセスメントと看護 （ホルモン検査、ホルモン治療、甲状腺切除術） 5. 甲状腺がんで体温調節機能に障害がある対象の看護	講義	4			
4	1. PH調節機能の障害 （PH調節機能と役割、PH調節機能とその障害） 2. PH調節機能の障害が生活に与える影響 （PH調節機能の障害が生命・生活にあたる影響） 3. 症状アセスメントと看護 （呼吸性アシドーシス、呼吸性アルカローシス、代謝性アシドーシス、代謝性アルカローシス） 4. 検査・治療時のアセスメントと検査 （腎生検、腎機能検査、造影検査、透析、腎移植） 5. 腎不全でPH調節機能に障害がある対象の看護	講義	8				

成人看護学援助論Ⅲ No.2

	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考
授業の内容と方法	5	1. 血糖調節機能の障害 2. 血糖調節機能障害が生活に及ぼす影響 3. 症状アセスメントと看護 (高血糖、低血糖) 4. 検査・治療時のアセスメントと看護 (糖負荷試験、血糖測定、インスリン補充療法、内服治療、運動療法、食事療法等) 5. 糖尿病で血糖調節機能に障害がある対象の看護 6. 演習 (簡易血糖測定、インスリンの打ち方) 7. 演習 (フットケア)	講義 演習	10		
	4	1. 身体防御調節機能の障害 (身体防御機能と役割、身体防御機能とその障害) 2. 身体防御調節機能の障害が生活に及ぼす影響 (身体防御機能障害が生命・生活にあたる影響) 3. 症状アセスメントと看護 (発疹、創傷、褥瘡、熱傷、感染、アレルギー、自己免疫異常、免疫不全、止血の障害) 4. 検査・治療時のアセスメントと看護 (骨髄穿刺、生検、抗HIV療法、減感作療法、免疫抑制剤、ステロイド療法) 5. 白血病で身体防御機能に障害がある対象の看護	講義	8		
終了後課題						
評価計画方法	筆記試験、授業中の態度から総合的に評価する。					
テキスト 参考図書	林床健二他著：ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑥ 内部環境調節機能障害／生・生殖機能障害，メディカ出版 赤石 恵子他著：健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害 メディカ出版(落合先生) 矢野久子著：ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護③ 造血機能／免疫機能障害，メディカ出版 (亀澤先生) 参考図書： 大東 貴志他著：成人看護学⑧腎・泌尿器，医学書院 吉岡 成人他著：成人看護学⑥内分泌・代謝，医学書院 岩田 健太郎他著：成人看護学⑪アレルギー・膠原病・感染症，医学書院 飯野 京子他著：成人看護学④血液・造血器，医学書院					
実務歴有						
講義への反映						
備考						